



iwork-pro.jp

クリックして
Webサイトへ
アクセス

アイ・ワーク News

iwork News Vol.13



iwork News
1周年迎えました!

ジャンプ率 ってなに？

おかげさまで、アイ・ワークNewsも1周年を迎えました。

アイ・ワークNewsを契機に、お声がけ頂いたクライアント様もこの1年でたくさんありました。

様々な媒体をご依頼いただく中で、クライアント様の事業活動を学び、マーケティング、デザインでお役に立ちたいと思う気持ちがさらに高まった一年でした。

さて、今号では、伝えたいことを、顧客・ユーザーに伝わりやすくする「ジャンプ率」について紹介します。ジャンプ率とはデザイン上にある文字や画像のサイズの比率のことです。

ジャンプ率を高くすると、活発で躍動感のあるデザインに。情報の優先順位がわかりやすくなり、瞬時に内容を伝えることができます。

DMや特売のチラシなど、忙しい人や、流し読みをしている人へ、一瞬で内容を伝えたい場面に効果的です。見る人が内容の把握をスムーズに行えるので、情報量の多い時はジャンプ率を大きくすると良いでしょう。

ジャンプ率を低くすると、落ち着きや高級感のある印象に。文章をしっかりと読んでもらいたい専門書や教科書、高級レストランのメニューなどのフォーマルな場面で活用すると効果的です。

お客様にたくさんのことを伝えたいと、大量の情報を原稿に盛り込んでいないでしょうか？デザイナーに、伝わりやすくデザインを工夫するためのスペースを与えてください。

Point

デザイナーが工夫しやすい原稿とは？

- ▶ 情報の優先度を示す(省略可能な部分も)
- ▶ 文章の要約や、削減を許可する
- ▶ ターゲット像や使用場面をデザイナーに伝える

デザイナーは、与えられた原稿を120%にして返したいという思いでデザインをしています。うまく使っていただいで、事業活動に有効な媒体を作らせてください!

ジャンプ率が高い

ジャンプ率が高い

- ✓ 忙しい人へ、**一瞬で内容を伝えたい**
- ✓ **情報の優先順位**がわかりやすく、瞬時に内容を伝える
- ✓ **活発**で躍動感のあるデザインに

ジャンプ率が低い

ジャンプ率が低い

ジャンプ率を低くすると、落ち着きや高級感のある印象に。文章をしっかりと読んでもらいたい専門書や教科書、高級レストランのメニューなどのフォーマルな場面で活用すると効果的です。

Get Attention

“糖質捜査官”
WEBディレクター 川出
K.KAWADE



多様な色覚に配慮した 伝わるデザインを



伝わるデザインさま
「配色のバリアフリー」



“いきいき栃木っ子”
デザイナー 村上
S.MURAKAMI

参考サイトで
詳しく
CHECK!

カラーユニバーサルデザイン

制作中、ついつい目立つように補色関係のパチパチとした配色にしたり、
白文字に赤い帯を組み合わせたことがあります、
一定の人からすると、見えにくい配色だったりするんですね。
今回は、すべての人にとって情報が正確に伝わりやすい配色、
カラーユニバーサルデザインについて簡単にまとめたものをご紹介します。

だれもが心地のよい配色を目指す3つのポイント!

Point!
01

青やオレンジで
見やすい工夫を

暖色系と寒色系を組み合わせつつ、
色の明度差をつけると○

見え方のシミュレーション

一般色覚者の見え方

色弱者の見え方



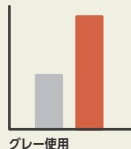
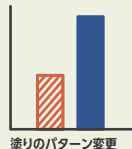
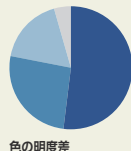
色弱者の場合、「赤と緑」、「紫と青」、
「オレンジと黄緑」などが同じような色に
見えてしまいます。そのため、暖色系同士、
あるいは寒色系同士を組み合わせない
ことと、明度の似た色を組み合わせない
ことがポイントになります。

文字の強調は水色やオレンジ色が◎

Point!
02

パターンなどで
色に頼らない

塗りや線のパターンを変えたり、
色数を増やさず、色の明度差で表現



グラフなど色を変えることで項目を区別し、
理解を促進することがあります。このとき、
グレーを使用したり、明度差のある同系色
で色分けするなど、塗りや線のパターン
を変えることで差別化すると伝わりやす
くなります。

プレゼンなどは色以外の情報も口頭で

Point!
03

コントラストは
強くしすぎない

真っ黒い文字でない方が目に優しく、
背景色は薄いグレーやクリーム色を

目にやさしい?

K100%

目にやさしい?

K100%

目にやさしい?

K95%

目にやさしい?

K95%

目にやさしい?

K90%

目にやさしい?

K90%

スクリーン上では、真っ白い背景に真っ黒
の文字ではコントラストが強すぎるため、
長時間見続けると、目に負担がかかります。
そのため、「濃いグレーの文字」にしたり、
「背景色に薄いグレーやクリーム色」を
使用すると、負担軽減につながります。

文字は5%~10%程度明るく

Color Universal Design

アイ・ワーク
News

iwork News
Vol.13
2024.5

有限会社 アイ・ワーク

〒603-8142 京都市北区小山北上総町10-1 MYCROFTビル2F
TEL 075-494-2686 E-MAIL news@iwork-pro.jp

i work